

二〇二二年度

第一回

国語入試問題

帝京高等学校

※解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

※特に指示がない限り、句読点も一字に数えなさい。

【一】 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

これは、今から三十年以上前、私が、父と妹と三人で暮らしていたときの話です。

そのとき、母はすでに亡くなっていました。そして妹も、当時の医学では治すことのできない、重い病気にかかっていました。

父は、いわゆる仕事人間で、口数も少ない不器用な人でした。私や妹に対して、やさしい言葉をかけてくれるわけでも、面倒を見てくれるわけでもありません。お手伝いさんを a ヤトえるほど裕福な家庭ではありませんでしたから、家事と妹の身の回りの世話は、ほとんど私がしておりました。

私は年頃でしたが、家と妹のことで忙しく、自分のことにほとんど手が回りませんでした。まして恋愛など、それまで一度もしたことはありません。それを不満に思っ**て**はいけない、と自分を b イマシめてもいました。なぜなら妹は、男の人と知り合う機会すらない。その妹の ① 境遇を考**え**るなら、私が恋愛をするわけにはい**か**ないのだと思**っ**ていたのです。それがある日、私は見つけてしまったのです。

妹のタンスに隠されていた、三十通もの手紙を。

悪いとは思いましたが、なんだか胸騒ぎがして、私はそのうちの一通を読みました。予想通り、それは男性からの熱烈なラブレターでした。

封筒の差出人は一人ひとり違っていました。でもそれは、すべて妹の知り合いの名前でした。おそらく妹は、私や父にばれないように、男性と口裏を合わせて偽名あやめいを使わ**せ**ていたのでしょう。

私は I 悔あがしくなりました。妹を不憫あひんに思**う**からこそ、私もいろいろ我慢していたのです。それなのに、それなのに妹は、私に隠れて、こんな……。

そこへ、偶然にも郵便屋がやってきて、新たな一通を家のポストに入れていきました。筆跡で、同じ男性だと分かりました。

私はその一通を懐ふところに入れ、手紙の束を、消印の古い順番に読み進めました。今まで、この境遇②に耐えてきた私の、当然の権利だと思っていたのです。

ところが読み進むにつれて、私の気持ちはどんどん変化していきました。手紙の内容の雲行きが、少しずつ怪しくなっていくからです。

初めは、男性から妹への思いが、
II つづられていました。その文面には、読んでいるこちらが恥ずかしくなるほどに、愛があふれていました。

その愛が、最近のものになるにしたがつてしぼんでいくのです。男性の気持ちはどんどん離れていく様子が、その文面から手に取るようにわかりました。

私は懐から、先ほど届いたばかりの一通を取り出しました。そこにはこんなことが書かれていました。

「僕ぼくには、君を愛する資格などない。別れてください」

読み終えた瞬間、私は
III、その手紙を破り捨てていました。

こんなものを読ませるわけにはいかない。妹は、もう長く生きられない身です。神様に見捨てられてしまった身なのです。

その妹が、なんで男性から見捨てられなければならないのでしょうか。妹がかわいそうでなりません。さつきまでの嫉妬しつとや怒りは、もうどこかへ消えていました。私の心は今や、妹への同情でいっぱいになっていました。

どうすれば、妹の心を慰められるか。文面から、手紙の差出人である男性と妹は、文通だけの関係であることがわかりました。そこで私は、
④一計を案じたのです。

その晩のこと。服を着替えさせようと妹の部屋を訪れた私に、妹は言いました。

「姉さん、さつき枕元まくらもとに届けていただいた手紙んですけど……」

「うん」

「なんだか、私にはよくわからないの。ちょっと読んでもらえないかしら？」

私は、妹が急に憎たらしく思えました。その文面は、最初の手紙と同じような、熱烈なラブレターです。なぜ知っているかと言えば、私が書いたものだからです。

筆跡は、完璧かんぺきに似せました。妹は、男からの手紙だと信じ切っているはずです。なのに私に、読ませようとする。きっと、男からのラブレターを自慢するためでしょう。

人の気も知らないで。でも、そんなことは口が、サさけても言えません。

「読んでいいのね」

私は、何食わぬ顔^⑤で、自分が書いた手紙を読み始めました。

「しばらく手紙を出さずについて、ごめんなさい。実は、自分の無能さや無力さをずっと悩んでいたのです。あなたをこんなに愛しているというのに、僕はあなたに何もしてあげられない。それが苦しくて、つらくて、あなたと別れようと思ひ詰めていたのです」

ここまでは最後の一通の書き出しと同じ文面でした。そしてここからが、私が妹のために書いた、私の IV です。

「でも、それが間違いだと思いません。完璧な人間なんていない。無力な僕でも、できることがあるのだと、思い直しました。僕はもう逃げません。僕はあなたを愛しています。これからも手紙を送ります」

ここで終わらせてもよかったのだけれど、私はもう一文、書き添えました。

「それから、毎日、お庭の外で口笛を吹いてお聞かせしましょう」

口笛は、私が自分で吹こうと考えていました。吹ける曲がいくつもありました。母が亡くなる前、母のかわりに私たち姉妹をあやそうとして、父が吹いてくれたのです。数少ない、優しい父の思い出です。

「僕は、あなたをずっと愛し続けます。永遠の愛をこめて M・Tより」

最後の一文は、妹に来た最初の手紙から、ハイシヤクしました。信ぴょう性をもたせるためです。

読み終えてから、私は妹に尋ねました。

「知らなかったわ。あなた、お付き合ひしている方がいたのね。でも、この手紙のどこがわからないの？」

すると妹は言いました。

「姉さん、この手紙、姉さんが書いたんでしょ」

私は絶句しました。しばらくの沈黙がありました。

私の緊張が伝わったせいかな、ロウカのきしむ音が聞こえたような気がしました。

やがて妹は言いました。

「私、知っている。姉さんが、ダンスの手紙を読んだことも」

あまりの恥ずかしさに、⑥何も言葉が出てきません。なぜ妹にばれたのでしょうか。手紙はきちんと元通りに戻したし、筆跡もまったく同じに書いた自信があったのに。

何も言えずとまどっていると、妹は意外なことを言いました。

「ありがとう、姉さん。実は、私も姉さんに黙っていたことがあるのよ」

黙っていたこと？

「あの私宛の手紙なんだけど、あれ、全部、私が自分で書いたものなの」

妹は言いました。自分には青春がなかった。青春を謳歌おうかしたかった。文通でいいから、恋愛もしてみたかった。だから自分で男になりすまし、自分にラブレターを書いたのだと。

「でも、こんなの馬鹿げていたって、今になって思うの。どうせ死んでしまうのだから、私、もっと自由に生きればよかった。がまんして、おかげで姉さんまで看病に巻き込んで、がまんさせてしまつて。私、馬鹿だった。ごめんね、姉さん。

ごめんなさい……」

妹の瞳ひとみから、涙がこぼれていました。

「もういいの、もういいのよ」

私は妹をしっかりと抱きしめました。妹の感じている悲しみや、死んでしまうことへの恐怖や、嘘うそがばれた恥ずかしさ……それらがいっぺんに、私の胸にもあふれました。

私は、妹のやせた頬ほおにびったりと自分の頬を重ねて、ただ涙が出るのに任せていました。

その時、意外なことが起こりました。家の外から、低く、かすかに、口笛が聞こえてきたのです。手紙の男性の口笛でしようか？ 私たちはどうかしてしまったのでしょうか？

いいえ、違います。口笛の音色は、私たちにとつてとても懐かしいものでした。恐らく口笛の主は、私と妹の会話を、部屋の前で聞いたのでしよう。

ろうかがきしんだのも、きつとその人のせい。私たち姉妹にとつての つじつま ⑦ 平和な辻褄を合わせるために、口笛の主は急いで庭に出て、口笛を吹きはじめたに違いありません。

妹が目には涙を浮かべながら、私に微笑みかけました。私も涙ぐみながら、微笑み返しました。そんな私たち二人を、父の口笛が、あたたかく、やさしく包み込んでいました。

『葉桜と魔笛』原作 太宰治・翻案 吉田順

問1 波線部 a ∽ e のカタカナを漢字に直しなさい。

問2

I ∽ III に当てはまる語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

「ア 反射的に イ 否定的に ウ 赤裸々に エ 無性に オ 不快に カ 無限に」

問 3 IV に当てはまる最も適当な語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

「ア 工作 イ 代作 ウ 改作 エ 創作 オ 佳作」

問 4 傍線部①・②「境遇」とありますが、「どのような境遇」なのですか。それぞれ説明しなさい。

問 5 傍線部③「私の気持ちはどんどん変化していきました」とありますが、その「変化」について説明している二文を本文中より探し、最初と最後の五字を答えなさい。(句読点を含む)

問 6 傍線部④「一計を案じた」とありますが、具体的にはどのようなことですか。四十字以内で説明しなさい。

問 7 傍線部⑤「何食わぬ顔」とありますが、どのような表情のことですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 知っているが何も知らないといった表情。

イ うまくいっていると得意げになっている表情。

ウ これからつく嘘について緊張を隠せない表情。

エ すべてはわかっているが言えないで困った表情。

問 8 傍線部⑥「何も言葉が出てきません」とありますが、こういう状態を漢字二字の熟語で何と言いますか。本文中から探し、答えなさい。

問9

傍線部⑦「平和な辻褄を合わせる」とありますが、その内容に当てはまるものには○、当てはまらないものには×をつけなさい。ただし、すべて同じ記号にはしないこと。

- ア 姉が妹のために読んだ手紙の内容を実現させる。
- イ 父親の娘たちに対する心からの愛情を伝える。
- ウ 姉妹の互いを思いやる気持ちに応える。
- エ 妹が姉に対して抱いた疑いを晴らす。
- オ 手紙の男性の願いをかなえる。

【二】 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

『武士道』は、明治時代の1899年に、新渡戸稲造（にとへ いなぞう）が英語で書いた本です。日本人の新渡戸は、どうして英語で『Bushido The Soul of Japan（武士道 日本の魂）』を書いたのでしょうか。それは新渡戸が、この本を通じて日本のことを外国人に伝えたかったからだと考えられます。そのころ世界では、日本はあまり知られていませんでした。新渡戸は、「日本人ってどういう人ですか？」という質問の答えには、「武士の生き方」の紹介こそがぴったりだと考えたのです。

『武士道』の筆者の新渡戸稲造は武士のこどもとして、江戸時代の1862年に生まれました。明治時代になって、武士という身分はなくなりましたが、新渡戸は「武士の子」として、厳しく育てられました。新渡戸は十五歳の年に札幌農学校（さっぽろ）に入学、英語や農学を熱心に勉強しました。さらに「太平洋のかけ橋になる」という夢の実現のためにアメリカに留学します。そこで知り合ったアメリカ人女性のメリーと結婚、先生になるために日本へ帰国しました。

札幌農学校の教師になった新渡戸は、こどもを亡くしてしまい、自分も病気になって、数年で仕事を辞めることになります。それでもくじけずに、病気の療養をしながら書いたのが、『武士道』です。世界的に有名になった新渡戸は、1920年に国際連盟の責任者の一人に選ばれました。国と国とのかけ橋になるため、努力を続けた新渡戸は、1933年、七十一歳の時にカナダで急に亡くなるまで、世界の平和のために働き続けたのです。

『武士道』の出版に前後して、中国やロシアに戦争で勝った日本は世界で注目されはじめました。そのため『武士道』はすぐ、^④いろいろな国でベストセラーになりました。しかし、人気の大きな理由は、『武士道』が伝えた生き方に、世界の人びとがとても感動したからです。1908年には日本語に翻訳されます。それまで日本でも英語で読まれていたものが、^⑤翻訳されたことで、さらに多くの人に広まりました。

『武士道』は、日本を知るための本として注目されただけではなく、「どうやって生きるか」を学ぶための本として、今もたくさんの人に読みつがれています。

たとえばアメリカでは、大統領のセオドア・ローズヴェルトが、「私は日本については知らないが、この本についてはよく知っている」といって、家族や友だちに『武士道』の本を配るほどの大ファンでした。また発明王エジソンや、日本で最初の首相である伊藤博文など、多くの人びとが愛読したといわれています。ヨーロッパのある軍人は、きびしい戦場にいた二年間、自分をはげましてくれたのはいつも『武士道』だったといっていて、真剣な表情で新渡戸にお礼をいったというエピソードまで残っています。『武士道』は、国のリーダーだけでなく、スポーツ選手や俳優、ビジネスマンなど、たくさんの人びとに読まれています。弱気になってしまったときでも、強く生きていけるヒントが、『武士道』には、ぎっしりつまっています。

ここで、『武士道』の言葉を紹介します。

勇の鍛錬は吐かずして忍耐**することを銘記せしめ、他方に礼の教訓は我々自身の悲哀もしくは**苦痛を露す**ことにより他人の**快樂**もしくは**安静**を害せざるよう要求する。**

苦しいときはだれでも、弱気になってしまいます。ついつい、弱音をはきたくなるかもしれません。しかし『武士道』は、そんなときこそ、グツとがまんすることが大事だといっています。弱音というものは、つらく苦しい状況に耐えている自分をくじかせてしまうものです。「自分にはむずかしい：」「もう無理だ！」などと口にしたことで、本当はもう少しがんばることができたのに、それができなくなることだってあります。それだけでなく、あなたの弱音を聞いた周囲の人を不安にしたり、嫌な気持ちにさせてしまったり、よくない結果を引き起こしてしまうこともあります。

つらいときにがまんすることは、正しい行いをするための勇気をもつ練習になりますし、相手を思いやる礼儀の土台にもなります。苦しいときには、そのことを思い出してみてください。

※作問のため、一部編集しています。

(日本図書センター『こども武士道』より)

問5 傍線部⑤「翻訳されたことで、さらに多くの人に広まりました」とありますが、どういふことですか。六十字以内で答えなさい。

問6 傍線部⑥「苦痛を露すことにより他人の快樂もしくは安静を害せざるよう要求する」とありますが、この内容を分かりやすく解説している一文の最初の五字を答えなさい。

問7 本文の内容に当てはまるものには○、当てはまらないものには×をつけなさい。ただし、すべて同じ記号にはしないこと。

ア アメリカ大統領のセオドア・ローズヴェルトは、『武士道』を通して日本について学び、日本の国民性への理解を一層深めた。

イ 困難に直面した時は、一人で抱え込まず、時には素直な気持ちを周囲に話して発散して明日への新たな活力を得るとよい。

ウ 新渡戸は子どもを亡くしただけでなく、世界平和のために働き過ぎて一時病気になる、仕事を続けられなくなってしまった。

エ 厳しい状況に耐えることは、礼儀を重んじ他者に共感する上での基本であり、同時に勇気を持って正しい行動を選択する訓練である。

問1 傍線部①「そのころ世界では、日本はあまり知られていませんでした」とありますが、明治時代以前に日本が外国との交流を制限していました。このことを漢字二字で何といふか答えなさい。

問2 傍線部②『武士の生き方』の紹介こそがびつたりだ」とありますが、新渡戸がこのように考えた理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本において、武士は町人や農民より立派なので、武士を紹介するのが一番良いと考えたから。

イ 筆者は武士の子どもとして育ったことを誇りに思っており、是非海外にも紹介したいと思ったから。

ウ 武士が大切にしている精神は、日本が大切にしているものを象徴していると考えたから。

エ 武士という身分がなくなっても、自分は武士だと思いながら生きる日本人は多いから。

問3 傍線部③「新渡戸は「武士の子」として、厳しく育てられました」とありますが、これはどういふことですか。三十字以内で答えなさい。

問4 傍線部④「いろいろな国でベストセラーになりました」とありますが、『武士道』が現在でも広く読まれる理由として、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 大国の中国やロシアに戦争で勝った日本という小さな島国がどのような国か分かるから。

イ 国の違いや時代を越えて、苦しいときでも強く生きるヒントがたくさん書かれているから。

ウ 『武士道』が伝える生き方に、世界中の多くの人が感動と勇気を与えているから。

エ 英語で書かれており、日本国内外の著名な人々が『武士道』を多くの人に推薦したから。

受験番号

氏名

得点

【一】 問1

a 雇える
b 戒めて
c 裂けても
d 拝借
d 廊下

問2

I エ
II ウ
III ア

各②点

問3

エ

②点

問4

①不治の病にかかり、男の人と知り合う機会すらないという境遇。
 ②家事と病気の妹の世話で忙しく、恋愛を含め自分の事はいろいろ我慢しているという境遇。

問5

さ
っ
き
ま
で
く
い
ま
し
た
。

③点

各④点

問6

心	自
が	分
慰	が
め	ラ
ら	ブ
れ	レ
る	タ
よ	ー
う	の
な	相
熱	手
烈	に
な	なり
手	り
紙	す
を	ま
書	し
く	、
こ	妹
と	の

⑥点

問7

ア

②点

問8

絶
句

③点

問9

ア	○
イ	×
ウ	×
エ	○
オ	×

各②点

（【二】の解答欄は裏面にあります）

【二】

問1

鎖
国

⑤点

問2

ウ

⑤点

問3

厳	新
し	渡
く	戸
教	は
育	武
さ	士
れ	が
た	大
と	切
い	に
う	す
こ	る
と	精
。	神
	を

⑧点

問4

イ

⑤点

問5

で	人	『	翻
き	び	武	訳
る	と	士	さ
よ	も	道	れ
う	、	』	る
に	日	を	以
な	本	読	前
っ	語	め	は
た	な	な	英
と	ら	か	語
い	読	っ	で
う	む	た	書
こ	こ	多	か
と	と	く	れ
。	が	の	た

問6

そ
れ
だ
け
で

⑤点

問7

ア	×
イ	×
ウ	×
エ	○

各③点

